

こころを動かすスポーツ。



Corporate Profile 2015

Corporate Profile 2015

2015年3月期
For the year ended March 31, 2015

ゼビオホールディングス株式会社 XEBIO Holdings Co., Ltd

〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
URL <http://www1.xebio.co.jp/>
3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024, Japan
URL <http://english.xebio.co.jp/>

東京オフィス

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14F
Nishiki-cho Trad Square 14F,3-20Kanda,Nishikicho,Chiyodaku,Tokyo 101-0054,Japan



環境にやさしい
植物油インキを使用しています





ゼビオグループステートメント

こころを **動** かすスポーツ。

私たちゼビオグループは、スポーツの魅力と可能性を最大限に引き出し、
伝え、表現し、発信し、それらをビジネスとしての価値に変えていきます。
そしてスポーツ業界のビジネスモデルを変革し、スポーツのビジネスとしての価値を最大化していきます。
その結果、スポーツの持続的発展に寄与し、地域社会への貢献、そして、
身近にスポーツがある健康的で充実した豊かな人生のお手伝いをします。



ゼビオグループの宣言

- ◆ 私たちはスポーツの感動価値を最大化します。
- ◆ 私たちはスポーツ業界のビジネスモデルを変革・創造していきます。
- ◆ 私たちはスポーツによって世の中を明るく元気にしていきます。

会社情報 Corporate Information

- 02 トップメッセージ
- 03 経営体制
- 04 コーポレート・ガバナンス

企業戦略 Corporate Strategy

- 06 成長戦略&ゼビオグループヒストリー
- 08 成長戦略&人財育成方針

事業概況 Business Overview

- 10 グループ主要会社概要
- 11 スポーツ小売事業
- 13 その他 関連事業
- 14 CSR 活動

財務情報 Financial Information

- 16 経営成績、財務状態、キャッシュ・フロー状況の分析及び株式情報
- 18 ゼビオグループ ブランド別ストア数

19 English Section Contents

- 20 XEBIO Group Statement
- 21 Message from the President
- 22 Growth Strategy and History of the XEBIO Group
- 24 XEBIO Group Primary Corporate Overview
- 25 Business Overview
- 28 Financial Information Digest
- 29 Stock Information

免責事項・見直しに関する注意事項

このレポートは、2015年3月期の実績及び2015年4月からこのレポート発行日までの活動内容に基づき、ゼビオホールディングス株式会社及びその子会社、関連会社に関する情報を掲載しています。本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。従って、実際の業績は経営環境等の変化に伴い、見通しと異なる可能性があることをご留意ください。また、この内容は投資判断の参考になる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。

当社は1962年に福島県いわき市で紳士服の専門店として産声を上げました。それから半世紀、常にマーケットの先駆者として開拓していくことを使命とし、紳士服販売から、カジュアル衣料販売、スポーツ用品販売へと業態を大きく変革してきました。現在まで店舗の大型化や特色ある店内装飾、地域ごとのマーチャンダイジングなど他社との差別化を図りながら店舗網を拡大させ、積極的なM&Aや新規事業会社の設立により、オンリーワン企業として着実な成長を遂げてきました。

そしてこの度、急速に変化する時代の趨勢に対応すべく、当社グループを純粋持株会社形態へと進化させ、当社はゼビオホールディングス株式会社となりました。グループ内を3つの事業中核会社（ゼビオ㈱、㈱ヴィクトリア、㈱ゴルフパートナー）と3つの機能中核会社（クロススポーツマーケティング㈱、クロステックスポーツ㈱、ゼビオコーポレート㈱）に再編成し、各社の社長がゼビオホールディングスの経営会議のメンバーとして、グループ内での担当分野・役割期待を明確しつつ、CEOと相互にフラットな関係であることにより、グループ全体の重要事項や経営課題に対して機動的かつ多面的な視点で意思決定を行います。

今回の組織再編は、量的成長から質的成長へのシフトを促進する新しいフェーズへの移行です。われわれ全スタッフは「スポーツナビゲーター」として、創業から脈々と受け継がれたゼビオのDNAを胸に刻みながら、今までの50年、そしてこれからの100年、進化を続けていきます。

「XEBIO」という社名には「個性的な生活（XEchoristos-BIOs）」「未来に向かって拡大する活動的な生命（Xpanding & Energetic BIOs）」の2つの意味が込められています。ゼビオグループは、「お客様のライフスタイルをトータルにクリエイティし、意欲的に未来を開拓していく」というポリシーを共有し、単なるスポーツ小売業に留まることなく、様々な業態とかわりながらスポーツそのものの魅力を追求する「スポーツコングロマリット構想」を実現します。そして、お客様の潜在的にある健康や生活に関するニーズに対して総合的に提案し、お客様とともに解決していくことができる「ライフスタイルカンパニー」を目指します。

2020年に東京オリンピックが開催されます。スポーツは、「行う」「観る」など様々な形で、子供でも、大人でも、男性でも、女性でも、若くても、お年を召されていても、誰もが楽しむことができます。私たちが「ここを動かすスポーツ」というグループステイトメントに込めた思いを、「日本中がスポーツの感動で満ち溢れる」という形で実現していきたいと考えています。そして、この感動をオリンピックで終わらせないよう、私たちがその後もメッセージを発信し続けることで「スポーツによって世の中を明るく元気にする」というゼビオグループの宣言を実現していきます。

代表取締役社長
諸橋 友良

取締役及び監査役 / Directors & Corporate Auditors



代表取締役社長
諸橋 友良
President
Tomoyoshi Morohashi



取締役
北沢 猛
Director
Takeshi Kitazawa



社外取締役 ^{*1}
谷代 正毅
External Director ^{*1}
Masatake Yashiro



社外取締役 ^{*1}
石綿 学
External Director ^{*1}
Gaku Ishiwata



社外取締役 ^{*1}
山田 潤二
External Director ^{*1}
Junji Yamada



監査役
加藤 則宏
Full-time Corporate Auditor
Norihiro Kato



社外監査役 ^{*2}
佐々木 庸雄
External Corporate Auditor ^{*2}
Tsuneo Sasaki



社外監査役 ^{*2}
小谷野 幹雄
External Corporate Auditor ^{*2}
Mikio Koyano

^{*} 1 会社法第2 条第15 号に定める社外取締役
^{*1} External director as stipulated in Article 2Paragraph 15 of the Companies Act
^{*} 2 会社法第2 条第16 号に定める社外監査役
^{*2} External corporate auditor as stipulated inArticle 2 Paragraph 16 of the Companies Act

執行役員 / Corporate Officer



副社長執行役員（事業運営担当）
ゼビオ株式会社代表取締役社長
加藤 智治
Executive Vice President
President XEBIO Co., Ltd.
Tomoharu Kato



副社長執行役員（マーケティング担当）
クロススポーツマーケティング株式会社代表取締役社長
中村 考昭
Executive Vice President
President Xross Sports Marketing Co., Ltd.
Takaaki Nakamura



専務執行役員（グループ経営統括担当）
ゼビオコーポレート株式会社代表取締役社長
櫻井 龍一
Senior Corporate Executive Officer
President Xebio Corporate Co., Ltd.
Ryuichi Sakurai



執行役員（グループゴルフビジネス担当）
株式会社ゴルフパートナー代表取締役社長
石田 純哉
Corporate Officer
President Golf Partner Co., Ltd.
Junya Ishida

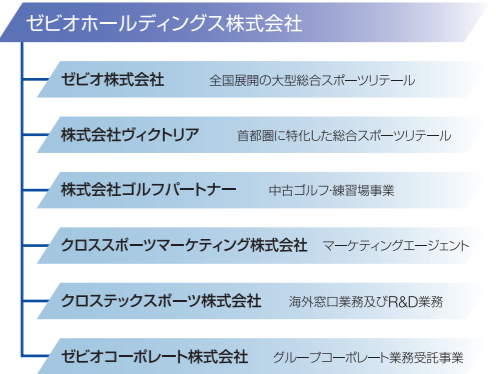


執行役員（首都圏及び地方特定商圏担当）
株式会社ヴィクトリア代表取締役社長
中田 誠
Corporate Officer
President Victoria Co., Ltd.
Makoto Nakada



執行役員（グループブランド戦略担当）
クロステックスポーツ株式会社代表取締役社長
村井 宏行
Corporate Officer
President Cross Tech Sports Co., Ltd.
Hiroyuki Murai

各事業会社の事業概要



執行役員（グループ業務管理担当）
ゼビオコーポレート株式会社専務取締役
大島 康夫
Corporate Officer
Executive Director Xebio Corporate Co., Ltd.
Yasuo Oshima

当社は、企業の経営環境が大きく変化し、従来型の経営手法ではグローバル化した環境変化には対応できない中で継続的に企業価値を高めていくためには、コーポレート・ガバナンスが重要な経営課題であり、また、企業活動を牽制する仕組みであると認識しております。このような中で、当社は社長、取締役、監査役を中心とする相互監視ならびに社外取締役、社外監査役の選任によって、経営の透明性、法令遵守、説明責任を確保しております。また、経営の中立性・客観性の確保及び一般株主の保護の強化を目的とし、社外役員の中より一名を独立役員として選任しております。これらにより当社は経営組織の改革に対して継続的に取り組み、コーポレート・ガバナンスの強化を進めて参ります。

1 会社の機関の内容及び
内部統制システムの整備状況等

当社は2015年10月1日より純粋持株会社体制に移行しました。持株会社の傘下には、6社の中核子会社(グループ内子会社群を機能別にグルーピングしたチームのHQとしてチーム内のその他子会社に関する管理責任と権限を有する)を配置し、グループシナジーの醸成とグループガバナンスの強化を果たす体制を採用しております。

2015年10月1日現在、取締役会は取締役5名(うち社外取締役3名)で構成されており、経営の管理・監督と業務執行の明確な分離及び迅速な意思決定と責任の明確化を推し進めるべく、執行役員制度を導入しております。なお執行役員には、グループガバナンス強化の観点より、中核子会社の執行権限と、責任を担う中核子会社社長を中心に選任しております。経営の基本方針に関する重要事項を検討する機関といたしましては、取締役及び執行役員が構成メンバーになっている「グループ経営会議」を定期的に開催しております。なお、取締役の任期につきましては1年とし、経営責任をより明確にしております。

当社は、監査役会設置会社であります。監査役会は、社外監査役2名（財務、税務の専門家）と1名の常勤監査役がそれぞれの立場から取締役を監視・監査しております。また、内部監査室と毎月報告会を開催し、相互連携を図っております。会計監査は、有限責任監査法人トーマツが会計監査業務を担っております。内部監査室、監査役及び会計監査人は、それぞれの間で定期的な連絡会を開催して報告を受けるなど連携を密にし、監査の有効性と効率性の向上に努めております。

グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上に重要な事項について、実効性のある議論を行う場として、代表取締役と独立社外取締役及び独立社外監査役で構成される諮問機関として設置しております。

各社に設置しているコンプライアンス推進機関を総括的に管理し、各社状況の確認と指導、並びに発生する事例を共有することで、グループ全体として更なるコンプライアンスの推進を担うことを目的として設置しております。

取締役会に付議する重要案件を精査・検討する機関として
社外取締役を加え、透明性と客観性を担保した「投資検討
会」「人事・報酬検討会」「資産管理検討会」「グループシナ
ジー検討会」を設置しております。

内部監査は、内部監査室を設置し室長以下スタッフが全てのグループ内関係会社の業務・内部統制監査を実施し、監査役とともにリスク管理とコンプライアンスの徹底・指導強化に努めております。

当社グループの中期ビジョン達成に向けての経営課題、コーポレートガバナンス、当社グループが解決していきたい社会的課題への取り組みやその方向性について、幅広い見識を持つ社外の有識者から意見をを得ることを目的として設置しております。

個別の経営課題について、グループ経営会議メンバーの要請によりテーマ毎に最適な人員をグループ各社から招集、グループ横断的な視点で解決の為の施策等を、グループ経営会議に答申することを目的として設置しております。

リスク管理体制は、財務面については会計監査人や社外監査役等において定期的に監査が行われ、法務面については社外弁護士から適宜助言・指導を頂いております。また、コンプライアンスについても、役員・全従業員による法令・社内ルール・倫理規範の遵守徹底を図るための社内体制整備に注力しております。

The organizational chart illustrates the corporate governance structure of Zepp Inc. (Zepp Co., Ltd.). At the top is the Shareholders' Meeting (株主総会). Below it is the Board of Directors (取締役会), which is responsible for the selection and dismissal of directors and officers. The Board of Directors is supported by several committees: the Board of Corporate Governance (ガバナンス委員会), the Internal Audit Room (内部監査室), the Compliance Committee (コンプライアンス委員会), the Asset Management Review Committee (資産管理検討会), the Investment Review Committee (投資検討会), the Human Resources and Compensation Review Committee (人事・報酬検討会), and the Group Synergy Review Committee (グループシナジー検討会). The Board of Directors also oversees the Group Management Meeting (グループ経営会議), which is responsible for the execution of business and the payment of important items. The Group Management Meeting is supported by the Project Team (プロジェクトチーム). The Project Team is responsible for the execution of business and the payment of important items. The Project Team is supported by the Functional Core Subsidiaries (機能別中核子会社), which include Zepp Inc. (株), Zepp Victoria Inc. (株), Zepp Golf Partner Inc. (株), Zepp Cross Sports Marketing Inc. (株), Zepp Cross Stock Sports Inc. (株), and Zepp Core Report Inc. (株). The Functional Core Subsidiaries are supported by the External Relations Group (海外関係会社群). The chart also shows the relationship between the Board of Directors and the Board of Corporate Governance, the Internal Audit Room, and the Compliance Committee. The Board of Directors is responsible for the selection and dismissal of directors and officers, while the Board of Corporate Governance is responsible for the selection and dismissal of directors and officers. The Internal Audit Room is responsible for the internal audit of the company, and the Compliance Committee is responsible for the compliance of the company. The Group Management Meeting is responsible for the execution of business and the payment of important items, while the Project Team is responsible for the execution of business and the payment of important items. The Functional Core Subsidiaries are responsible for the execution of business and the payment of important items, while the External Relations Group is responsible for the execution of business and the payment of important items.

「スポーツの国をつくる」ために、
私たちが目指していること

私たちは、これまでスポーツとの接点を持つ機会のなかった方々にも、スポーツの持つ「価値」を伝えていきたいと考えています。それはスポーツが、チームとの一体感や、努力の大切さ、勝利の喜びなど、日常ではなかなか体感することのできない「感動」を教えてくれるからです。人々と「スポーツ」との関わり方は様々で、スポーツを「する」だけでなく、「仲間をつくる」、「観る」、「応援する」など多岐にわたります。私たちは「スポーツ」を基点にして、様々な業種・業態と協働し、「スポーツの新しい価値」を一人でも多くの方々に提案していく「スポーツcongロマリット構想」を掲げております。今後も、人々の身近に「スポーツ」のある、健康で明るいライフスタイルを支援して参ります。

なぜ「スポーツcongロマリット構想」の
実現を目指すのか

スポーツ小売市場は約1兆7,000億円とされ、近年ほぼ横ばいで推移しております。少子高齢化によるスポーツ競技人口の減少が予測される一方、健康志向を背景にランニングやトレッキングがライフスタイルに根付くなど新たな市場も生まれております。また、各種プロスポーツ選手たちの活躍に多くの人々のこころが動かされ、スポーツへの参加意欲が高まることで市場が拡大していくことも期待されます。ゼビオグループは、スポーツ小売市場でのシェアを着実に拡大していくとともに、「小売業」のノウハウを最大限活用し、スポーツ関連事業の可能性を追求します。スポーツ関連事業は、コミュニティ運営、情報・サービス、プロスポーツ運営支援から、スポーツ施設運営、スクール、医療・健康事業など、その市場規模は10兆円を超えるとされます。これらの大きな市場を当グループの事業領域と捉え、様々な角度から挑戦し続けて参ります。



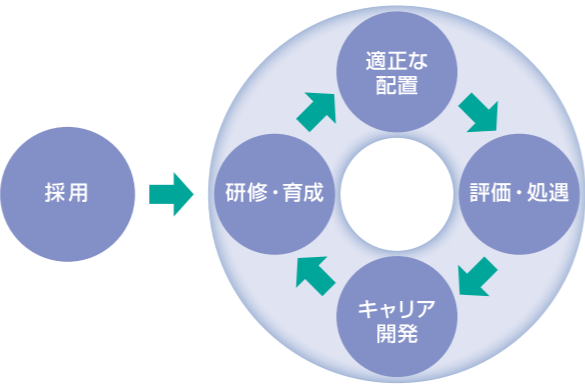
ヒト・モノ・カネ。事業運営の三要素です。
中でも小売業は人ビジネスと言われるほど、人財が重要な産業です。
私たちゼビオグループは、創業から人財を財産と位置付け、育成に注力してきました。
「仲間やお客様と向き合い、喜びや感動を創り出す精神。変化し続けるために全力を尽くす精神」を
創業時より大切に守り、深く考え、心に刻みながら人づくりに取り組んでまいりました。
創業時の遺伝子を受け継ぎながら、時代や環境変化に対応した進化を担う人財こそ、
今や私たちのグループに欠かせない大きな存在となっています。

スポーツナビゲーター

店舗において、一番魅力的な存在は商品ではありません。その商品一つひとつの価値を提案し販売できる販売スタッフの存在こそ、最も魅力的でなければならないのです。販売スタッフは単なる販売員ではなく、あらゆることをナビゲートできる人財という思いを込めて“スポーツナビゲーター”と命名しています。商品の使い方はもちろん、スポーツをすることの「感動」をお客様と共有し、常に期待を超える接客を心がけております。お客様に気持ちよくお買い物をして頂くことで、お客様の満足度は上がり、「また行ってみよう」「知人にすすめてみよう」というアクションに結びついています。また、各店舗における成功事例を全店舗で共有することで、どの店舗でも安心してお買い物を楽しんで頂けるように心がけています。接客販売業の基礎を大切にすることで、誰もが利用しやすく、未永く愛される店舗作りを進めています。また、お客様の感想や要望を直接お聞きする仕組みを整え、常に顧客満足度を高めていくための努力を惜しみません。
一人ひとりのスポーツナビゲーターのこうした活動と成果が私たちゼビオホールディングスの事業の強みであり、強力な差別化要因であると自負しております。

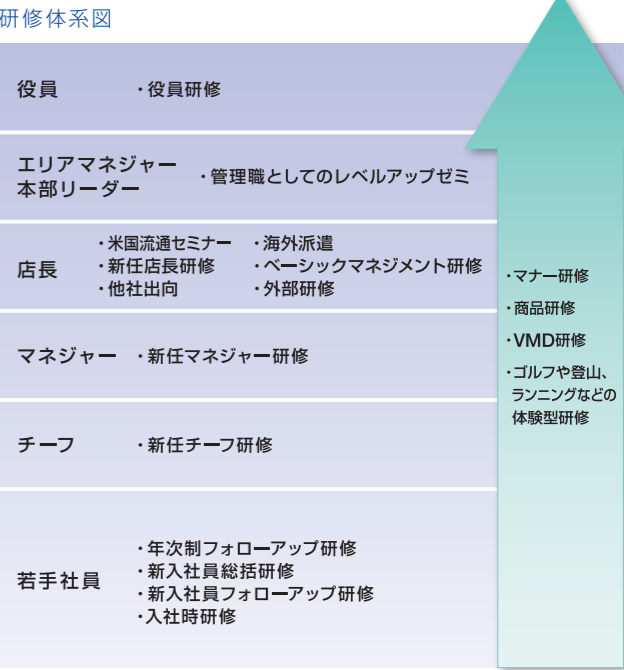
人財採用

ゼビオグループにおける事業は、多様化・グローバル化が進んでおり、それに対応した人財の採用・育成が求められています。グループ全体をあげて、人財マネジメントを強化し、採用・育成に取り組んでいます。
採用に関しましては、定期採用、不定期採用ともに注力しています。前述の通り、事業の多様化・グローバル化が急速に進むことに対応し、グローバル人財をはじめ多様な人財の確保を進めています。こうした人財を育成していくために、私たちは下図のようなローテーションに取り組んでいます。適材・適所の実現のために、自らの意思で希望の職場やポジションに挑戦できる自己申告制度も完備しています。当ホールディングスでは、「出る杭は抜擢される」というのが基本であり、社員の積極的な意思表示を常に尊重する制度を整えております。



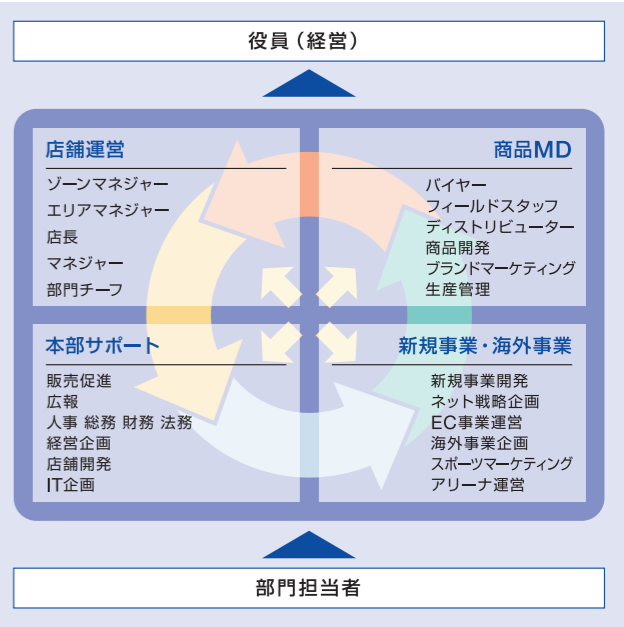
研修体制

人財育成に関しては、店舗におけるOn The Job Training (OJT)が根幹となります。実際の店舗で、お客様との接点を持ちながら、先輩や上司からの指導を受けながら、接客スキルの向上を図っています。さらに、そのフォローアップの機会として、年次別・階層別研修や知識習得を目的とした商品資格セミナー、ビジネススキルセミナーといったOFF-JTも各社で定期的を開催しています。また忙しい業務の合間でも学習ができるよう通信教育制度も整えています。
市場環境、そしてお客様動向の変化が激しいマーケットに変化対応し、満足度の向上に向け、今後も積極的に実施し、個々のスキルアップを目指してまいります。
右図はゼビオの例ですが、各社各様に研修体制を完備しています。



キャリアプラン

私たちのキャリアフィールドのメインステージは店舗です。しかしながら、年次・経験に制限されることなく新しいフィールドにチャレンジできるジョブローテーションも用意し、社内の職場活性化を実現しております。その活躍の場は、営業・商品・管理部門と多岐にわたっています。店舗で培った現場力を管理部門や商品部門に波及させることで、本部の現場理解度を高め、効率的かつ効果的なサポートを実現しています。また近年は海外出店にともない、海外勤務の機会も増えています。
また、ホールディングス化による事業の多様化に伴い、各企業間の人財交流が積極的に行われております。各社の持つ強みを融合し、より良い力を生み出す事で、さらなる高みを目指してまいります。



ゼビオホールディングス株式会社

商 号 ゼビオホールディングス株式会社（XEBIO Holdings Co., Ltd.）
本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
東京オフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
電 話 024-938-1111(代表)
U R L <http://www.xebio.co.jp/>

ゼビオ株式会社

商 号 ゼビオ株式会社（XEBIO Co., Ltd.）
宇都宮
ヘッドオフィス 〒320-0038 栃木県宇都宮市星が丘2-1-10
東京オフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
事業内容 スポーツ用品・用具、紳士・婦人・子供服の販売
電 話 028-624-5134(代表)
U R L <http://www.supersports.co.jp/>

株式会社ヴィクトリア

商 号 株式会社ヴィクトリア（Victoria Co., Ltd.）
本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア12階
事業内容 スポーツ用品販売
電 話 03-5282-7700(代表)
U R L <http://www.victoria.co.jp/>

株式会社ゴルフパートナー

商 号 株式会社ゴルフパートナー（GOLF Partner Co., Ltd.）
本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア13 階
事業内容 総合ゴルフショップ「ゴルフパートナー」
フランチャイズチェーン事業、「フェスティ
バルゴルフ」事業、練習場事業
電 話 03-5217-9700(代表)
U R L <http://www.golfpartner.co.jp/>

主な連結子会社

小売事業

■株式会社ネクサス
スポーツ用品販売事業 <http://takeda-sports.jp/>

サービス事業

■クロスプラネット株式会社
インターネットを活用したスポーツ関連サービス事業、EC
サイト管理運営事業、ゴルフ場予約サービス事業

■ゼビオカード株式会社
クレジットカード事業、割賦販売事業、融資事業等
<http://www.xebiocard.co.jp/>

スポーツ関連事業

■東北アイスホッケークラブ株式会社
プロスポーツチーム運営（東北フリーブレイズ）
<http://www.freeblades.jp/>

クロススポーツマーケティング株式会社

商 号 クロススポーツマーケティング株式会社
（Xross Sports Marketing Co., Ltd.）
本社所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
事業内容 マーケティング事業、リサーチ・コンサルティング事業、
イベント・プロモーション事業、プロパティ管理事業
電 話 03-5282-7655(代表)
U R L <http://www.xsmktg.com/>

クロステックスポーツ株式会社

商 号 クロステックスポーツ株式会社
（Cross Tech Sports Co., Ltd.）
東 京
ヘッドオフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア2階
本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-35
事業内容 海外窓口業務、R&D業務
電 話 03-3294-7351(代表)

ゼビオコーポレート株式会社

商 号 ゼビオコーポレート株式会社
（XEBIO Corporate Co., Ltd. ）
本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日3-7-7
東京オフィス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-20 錦町トラッドスクエア14階
事業内容 グループコーポレート業務受託事業
電 話 024-927-7715(代表)
U R L <http://www.xebio-xbs.jp/>

海外事業

■賽標（中国）体育用品有限公司
上海におけるスポーツ用品小売事業 <http://www.xebio.cn/>
■賽標（成都）体育用品有限公司
成都におけるスポーツ用品小売事業
■株式会社ゼビオコリア
韓国におけるスポーツ用品小売事業
<http://www.xebiokorea.com/>

研修宿泊事業

■清稜山株式会社
研修宿泊事業 <http://www.seiryozan.jp/>

その他事業

■ゼビオインシュアランスサービス株式会社
損害保険・生命保険総合代理店 <http://www.xis.co.jp/>
■ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社
販売業務請負業、人材育成事業、人材派遣事業

ゼビオグループは、スポーツからファッションまで幅広いアイテムを取り扱い、
合計で650を超える店舗を日本全国および海外に展開しています。
いずれの店舗においても、お客様の視点に立った売場設計と店舗運営を心がけており、
販売スタッフ一人ひとりがお客様と真摯に向き合い、お客様の期待を超える満足を提供することを徹底しています。
また、今後更なる事業展開を図るためにも、良質な商品を提供し高い収益性を保ち続けることで、
更なる飛躍につなげていきたいと考えています。

スーパースポーツゼビオ

●大型総合スポーツ専門店 ●全国149店舗+海外8店舗



スケール感あふれる1,000坪クラスの店舗を中心に、出店地域の特性を生かし
た店舗展開を行っています。数十万点に及ぶ圧倒的な品揃え、スポーツナビ
ゲーターによる一人ひとりに合ったきめ細かなサービス、長時間の滞在でも飽
きさせない魅力あふれる演出で、スポーツのビギナーから本格的なアスリート
まで、すべてのお客様にご満足いただける店舗作りを心がけております。小売事
業の柱となっている業態であり、ヴィクトリアゴルフやゴルフパートナーなどグ
ループ企業おのおのの小売業態を併設している店舗も多数存在し、他社と差別
化された品揃えをご覧ください。



ゼビオスポーツエクスプレス

●中小型スポーツ専門店 ●全国6店舗



エキナカ・エキチカを中心に展開する中小型スポーツ用品専門店です。立地上、
郊外型店舗にはない利便性を活かした商品構成となっており、スポーツに対する
関心の度合いにかかわらず気軽に立ち寄り、お買い物を楽しんで頂ける店舗作り
を進めています。



海外戦略

ゼビオホールディングスは、国内市場の変化へ対
応しながらシェアを拡大しつつ、近隣アジア地区へ
の出店とグローバル競争に向けた準備も進めてい
ます。スーパースポーツゼビオの海外店舗は現在
8店舗となっており、2014年4月には、シンガポ
ールに拠点を設置しました。今後は現地のビジネス
環境の優位性を活用し、海外事業の統括拠点と位
置付け、アジアにおけるスポーツライフスタイル
の拡充を目指していきます。



ソウルワールドタワー店



四川省成都高新店



上海グローバルハーバー店



トランスビューゴルフ店舗

スポーツ小売事業（店舗数は2015年9月30日時点）

ヴィクトリア

●都市型大型スポーツ専門店 ●全国22店舗



ヴィクトリアは、関東圏を中心に展開しており、ウィンタースポーツ用品の販売に特化した店舗や、アスリート向けの本格的な商品を取り扱う店舗など、立地やお客様の需要に変化対応した画一的でない店舗を運営しています。株式会社ヴィクトリアの企業理念、『「スポーツのある豊かなライフスタイル」のために、「夢中になれる喜び」「健康な体作り」に貢献するオンリーワン企業』を目指し、日々進化・発展していきます。



エルブレス

●アウトドア専門店 ●全国22店舗



都心に単独店舗を構えるほか、ヴィクトリアやスーパースポーツゼビオ内のインショップとして全国各地で展開をしています。アウトドアライフを快適に楽しんで頂くために、お客様のニーズや使用環境にフィットした適切な提案を行うとともに、新規商品も積極的に取り入れ、アウトドアフィールドでの楽しみ方の幅を広げられるよう取り組んでいます。



ヴィクトリアゴルフ

●総合ゴルフ専門店 ●全国187店舗



ビギナーだけでなく本格派をもうならせる魅力的なアイテムを取り揃えたゴルフ専門店です。単独店及び、スーパースポーツゼビオと併設型の店舗としても展開しています。落ち着いた店構えで試打コーナーも完備しており、納得のいくまでゴルフクラブをお選び頂けます。首都圏の一部店舗では、プレミアム感を重視した内装で展開しており、日常とは違った特別な感覚をお楽しみ頂けます。



ゴルフパートナー

●総合中古ゴルフ専門店 ●全国164店舗 ※FC除く、フェスティバルゴルフ含む



中古クラブを中心に、すべてのゴルフアイテムを取り扱っています。単独店として、またヴィクトリアゴルフのインショップとして展開している他、近年はゴルフ練習場の経営や練習場のインショップにも注力しています。積極的にフランチャイズ展開を行い、中古ゴルフ用品業界において圧倒的なスピードで、店舗ネットワーク、売上とともにNO.1の地位を築いてきました。「ゴルフライフパートナー」を経営理念に掲げ、快適なゴルフライフ実現のための商品・サービスを提供しています。



その他 関連事業（店舗数は2015年9月30日時点）

ネクサス

●郊外スポーツ専門店
●全国9店舗



タケダスポーツ

●郊外スポーツ専門店
●全国20店舗



小商圏型スポーツ専門店として、大商圏大型フォーマットではカバーできない地域のお客様への利便性や専門性を重要とし、店舗を運営しています。さらに地域に根差した地方小商圏フォーマットとして、品揃え、売場作り、サービスを磨き上げ東北地域のスポーツ振興に取り組んで参ります。



エクスタイル

●ファッションブランド専門店 ●全国18店舗



着心地のよさと機能美を追求したスポーツスタイルと、日常をスタイリッシュに彩るカジュアルスタイルを融合した、国内外のブランドを取り揃えるセレクトショップです。単独店をはじめ、一部のスーパースポーツゼビオ店内にインショップやコーナー展開をしています。

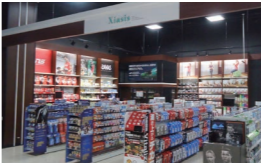


ジアシス

●スポーツドラッグストア ●全国15店舗



アスリートをはじめ、スポーツをするすべてのお客様にもっとスポーツを好きになって頂けるよう、健康食品、トレーニング用品、医薬品と幅広く取り扱い、コンディショニングのトータルサポートを提供しています。また、登録販売者によるカウンセリングを徹底し、コンサル販売も強化しています。



ネクスト

●ファッションブランド専門店 ●全国14店舗



next は世界に700以上の店舗数と、グローバルな通信販売を展開するイギリス最大級のSPAブランドです。イギリスならではの個性的なデザインとクオリティの高さで、世界中の人々から愛されており、素材、仕立てにこだわりをもち、アパレルや小物、シューズやアクセサリーまで幅広く展開し、トータルコーディネート提案を行っています。



エクスタイルヴィジョン

●スポーツメガネ・サングラス専門店 ●全国28店舗



スポーツからビジネス、日常生活まで幅広く使用頂けるラインナップで、各種有名ブランドをはじめ、自社開発商品までバリエーション豊富に取り揃えています。スポーツショップの運営で培ったノウハウを活かしながら、お客様に最適なアイウェアをご提案しサポートしています。



アルバネット

●ゴルフ関連情報のインターネット事業
●URL www.alba.co.jp



インターネットを通じてより多くのゴルファーにワンストップ型のサービスや、最新グッズ・ツアーなどの情報をタイムリーに提供する一方、ヴィクトリアゴルフのECショップと連動したサービスも提供しています。また、ユーザーに合った様々なプランを提供するゴルフ場予約サービスや、コンサルティング事業も展開しています。

CSR活動

ゼビオホールディングスは「お客様第一主義」を掲げ、お客様、地域社会、株主様、お取引先様、従業員といったすべてのステークホルダーの皆様とともに成長し、社会に貢献していくことを目指しています。スポーツをより身近に楽しんで頂く場を提供する「スポーツ振興活動」や、スポーツを通じて地域活性化を図る「社会貢献活動」など、様々な活動に継続的に取り組んでいます。

スポーツ振興活動

スポーツの可能性を最大限に引き出し、社会的価値向上に向けた取り組みを推進

ゼビオグループでは、スポーツが持つ力と当社アセットを活かし、「スポーツ産業・業界の活性化」「スポーツ施設環境の整備」「各種企業や団体との協業・連携」「次世代育成」の観点より、スポーツ振興活動を進めています。特に、スポーツを「観る・応援する」「ファッション」「コミュニティ」「教育」「健康維持・促進」など広義の意味で捉え、発展に寄与できるよう活動を推進しています。

アスリート雇用

高い技術や能力を兼ね備えたアスリートたちが選手活動に専念するにはまだまだ厳しい環境があります。そこで、まず彼らが「選手活動」と「社会人としての自立」を両立できるモデルケース作りとして、引退後もビジネスパーソンとして活躍できる人材となるよう、アスリート雇用を行っています。彼らの持つ能力や技術、経験を次世代の子どもたちや社会に還元すること、またそのような機会を増やすことがスポーツ産業・業界の活性化に繋がると考えています。



スポーツチーム・リーグのサポート

ゼビオグループは、アイスホッケーアジアリーグの東北フリーブレイズのクラブ運営や経営をサポートしています。また、フットサルリーグへのサポートを行うなど、スポーツを「する」人だけでなく、「観る・応援する」人に向けた環境づくりへの取り組みも行っています。一人でも多くの方に、スポーツの素晴らしさを知って頂く機会を創出することで、スポーツ業界の発展に寄与していきます。



東北フリーブレイズ



リーグ記者発表

子供向けスポーツ教室の開催

フットサルリーグと連携したことから、明日のスポーツ界を担う子供たちの育成にも注力しています。日本フットサル協会との連携プロジェクト「XEBIO for KIDS」を展開し、いずれもトップ選手や元トップ選手から直接指導が受けられるプログラムで子供たちは目を輝かせながら参加しています。

スポーツ施設環境の整備
ゼビオアリーナ仙台



ゼビオアリーナ仙台は公設公営／公設民営に代わる、「新たな設立運営モデル＝民設共営（民間が設立し地域共同体が運営）」を実現するチャレンジ施設です。当施設の設置により、

スポーツとエンターテインメント環境の発展向上と、仙台及び東北の地域文化発展への貢献を目指しております。プロスポーツの興行や、国際大会の誘致、アマチュアスポーツ大会の開催や、様々なイベント等の開催環境が整うことにより、スポーツの発展に貢献して参ります。

各種スポーツにおけるゼビオカップ、イベントの開催

サッカー・バスケットボール・テニス・ゴルフ等の各種競技において、年間300以上のイベントを開催もしくは協力。地域に根差す店舗を目指し、小学生から社会人まで幅広い年代の方に参加頂き、スポーツを通したコミュニケーションの場を提供し、技術向上と競技人口の拡大、また青少年の健全な育成に努めています。本年度はアマチュア野球の日本一決定戦・ゼビオドリームカップを開催。軟式野球チームであればどのチームも参加可能で、日本一に向けた熱い戦いが繰り広げられています。



スポーツを通じて子どもたちに夢や感動を
明るい社会作りを目指す

娯楽の中に教育的要素を取り入れ、体験や活動を通じて、社会性や人間性、知識などを身に付ける「Edutainment（エデュテインメント）」という考え方があります。スポーツ

を通じて、技術力及び体力等の向上を図るだけでなく、挨拶などの礼儀作法、協調性、社会性、努力など、子どもたちの心身育成に貢献できるよう、各競技のスポーツクリニックを開催し、子どもたちの夢や感動をサポートすることで、将来を担う人材の育成貢献活動を推進して参ります。

社会との取組み

復興に向けてのCSR活動の継続
スポーツを通じた触れあいを大切にす支援



東日本大震災発生以降、東北各地の店舗を基点に、当社スタッフが直接東北の皆様への支援活動を継続しています。「ここを動かすスポーツ。」という考えのもと、スポーツ選手を講師に招くなど、楽しく身体を動かす機会を作ってきました。その活動は、約90回にも及び、約58,000人の方に参加頂きました。ゼビオは、東北に本社を置く企業として「スポーツを通じて世の中を明るく元気にする」というステートメントの実現を目指し活動を継続していきます。

ユナイテッド・スポーツ・
ファウンデーションとの協働

一般財団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション(USF)は、「One World. One Team」をメッセージとして掲げ、震災復興支援や、将来を担う子どもの育成支援、その他、スポーツイベント等を通じて、グローバルな視点からスポーツ文化の振興を行っています。ゼビオグループでは、財団の理念に共感し、レジ前募金や、スポーツを軸とした支援活動やイベントを通じて、支援協力を行っています。

全国店舗で職場体験学習の受け入れ／小学生の体験学習プログラム「スチューデント・シティ」

全国のスーパースポーツゼビオにて、小・中・高校より体験学習を受け入れています。年間約200校・1,200名を超える

生徒の皆さんに、小売業や接客について学ぶ機会を提供しています。また、東京都品川区、福島県いわき市、宮城県仙台市に「スチューデント・シティ」という小学5・6年生を対象にした職場体験施設において模擬店舗を出店し、商品陳列や接客等の体験学習の機会提供をしています。子どもたちに仕事を通じた達成感や小売業の楽しさを知ってもらうこと、仕事を通じて経営や経済の仕組みを実感し、成長してもらうことを目標に、ゼビオグループの人財や知識・ノウハウといった資産を地域に還元できるよう努めています。



品川スチューデントシティ

産学連携。学生教育の支援と
当社経営ノウハウの地域社会への還元

各大学と連携し、市民講座の開催、インターンシップの受け入れ、共同研究、当社社員による講義などを実施しています。



●福島大学との連携／2005年より、同大学経済経営学類大学院経済学研究科と連携し、地域の方も参加可能な公開授業の開催や特別講師として授業を行っています。これは大学と企業の産学連携を通して、新しいビジネスモデルの構築や、より視野の広いビジネスマンを育成することを目的として、共同で開講しているものです。

環境保全活動

環境配慮型の仕組み作りや店舗運営を行い
豊かな社会環境作りに貢献

近年、新たな取り組みとして環境に配慮した店舗作りを行っています。自然光を取り入れるための天窓やソーラーシステムによるLED照明の外灯を設置しています。また焼却時のCO₂排出量を削減する素材を使用したレジ袋の導入も全店でを行い、自然環境に配慮した店作りを推進しています。



ドームつくば学園東大通り店の天窓

経営成績の分析

ゼビオグループの当連結会計年度の経営成績は、以下の通りであります。

売上高の状況

当連結会計年度の連結売上高は、2,106億72百万円となり、前期比58億93百万円(2.9%増加)の増加となりました。

販売費及び一般管理費

当連結会計年度の販売費及び一般管理費は、前期に比べ60億88百万円増加し751億96百万円となりました。

営業利益

当連結会計年度の営業利益は、前期比66億40百万円減少し、56億54百万円となりました。

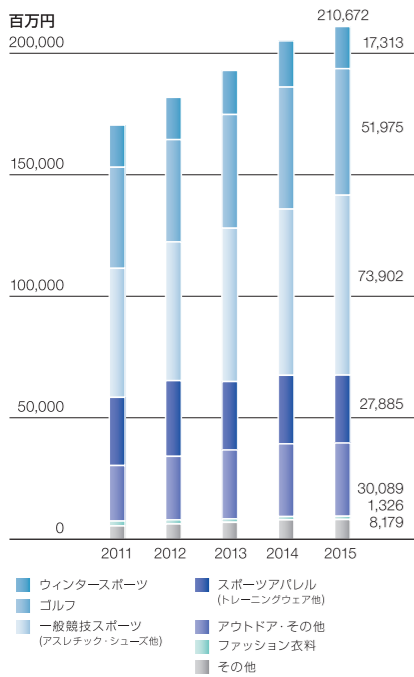
営業外損益、特別損益

営業外収益は、不動産賃貸料8億53百万円、受取利息1億1百万円の計上等により19億58百万円となりました。また、営業外費用は、不動産賃貸費用7億81百万円等により、11億80百万円となりました。これらにより、経常利益は64億32百万円(前期比65億52百万円減少)となりました。特別損失は、固定資産除却損37百万円、減損損失20億43百万円の計上等により25億58百万円となりました。

当期純利益

当連結会計年度の当期純利益は、20億84百万円(前期比△68.5%、45億33百万円減少)となりました。

売上高/部門別売上高の推移



財務状態の分析

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億14百万円増加し、1,816億98百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億28百万円減少の1,051億53百万円となり、固定資産は、12億43百万円増加し、765億45百万円となりました。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ8億87百万円減少し、659億16百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ19億67百万円減少の572億31百万円となり、固定負債は、10億79百万円増加し、86億85百万円となりました。

当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金の増加6億49百万円などにより、前連結会計年度末に比べ12億1百万円増加し、1,157億81百万円となりました。

キャッシュ・フローの分析

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、229億39百万円となり、前連結会計年度末に比べて26億35百万円減少いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、74億24百万円となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益を38億73百万円計上したこと、法人税等の支払額が51億20百万円、たな卸資産の減少による資金の増加額が61百万円、仕入債務の減少による資金の減少額が85百万円、売上債権の減少による資金の増加額が1億96百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△84億27百万円となりました。主な要因は、店舗の出店に伴う有形固定資産の取得による支出が53億84百万円、投資不動産の取得による支出が14億25百万円であります。財務活動によるキャッシュ・フローは、△22億93百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額が15億76百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が8億44百万円であります。

株式情報

(2015年9月30日現在)

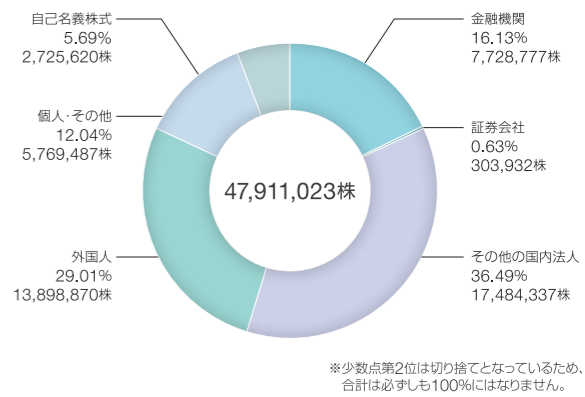
証券コード: 8281

上場証券取引所: 東京証券取引所市場第一部

株式の状況

発行可能株式総数 135,000,000株
発行済株式の総数 47,911,023株
株主数 9,088名

所有者別 株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社サンビック	8,252,605	18.3
公益財団法人諸橋近代美術館	4,500,000	10.0
有限会社ティー・ティー・シー	4,121,466	9.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,940,600	4.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,522,100	3.4
諸橋 輝子	1,392,364	3.1
諸橋 友良	1,173,150	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,094,500	2.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	902,500	2.0
諸橋 寛子	900,897	2.0

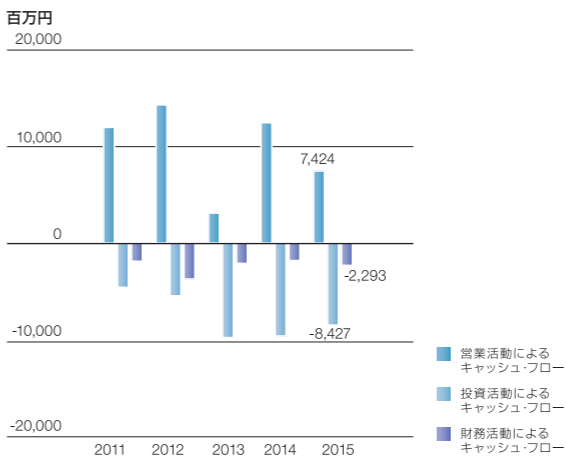
※ 1. 当社は、自己株式2,725,620株を保有しておりますが、議決権がないため、上記大株主から除外しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

※ 2. 信託銀行の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。

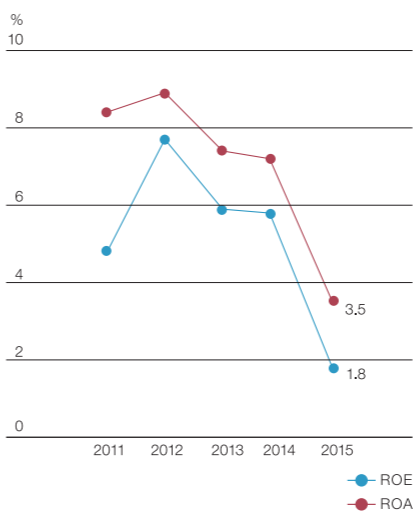
1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2014年3月期	17円50銭	17円50銭	35円00銭
2015年3月期	17円50銭	17円50銭	35円00銭
2016年3月期(予想)	17円50銭	17円50銭	35円00銭

キャッシュ・フロー














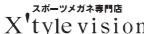




ROE/ROA



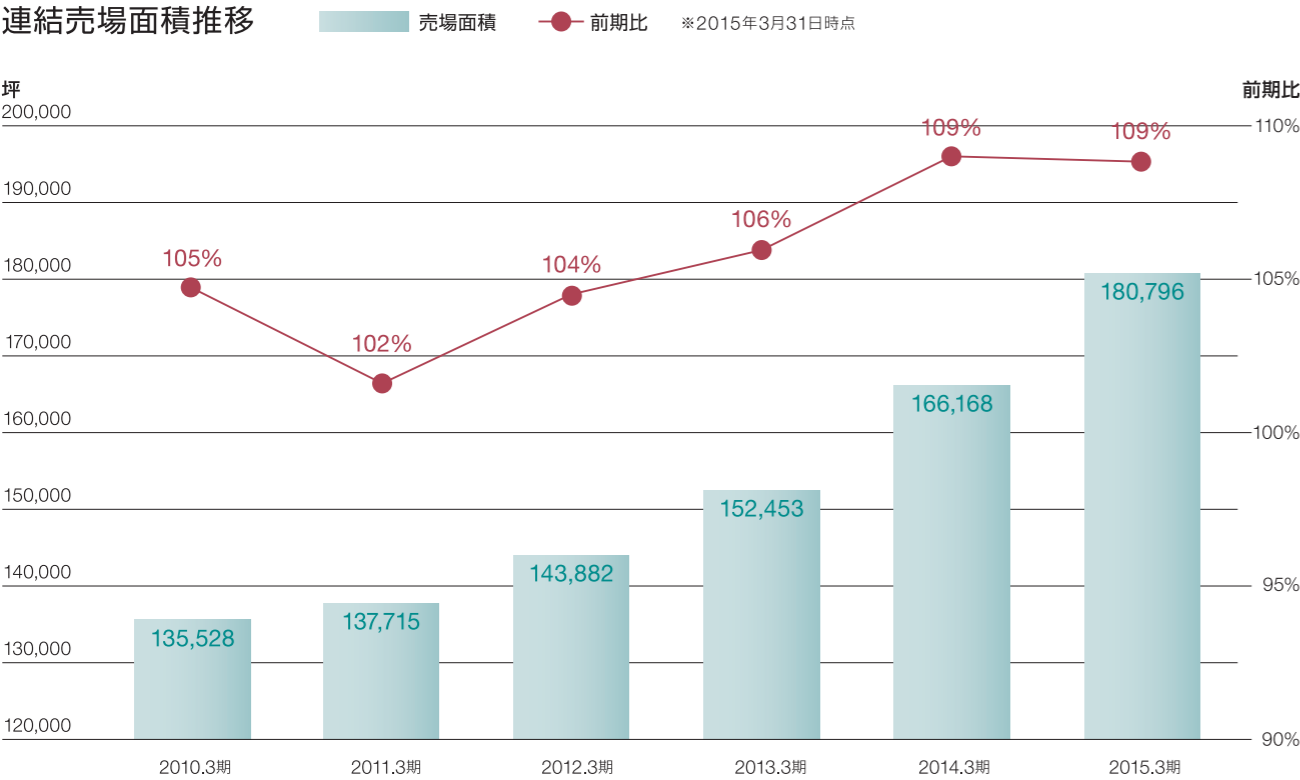
ゼビオグループ ブランド別ストア数（店舗一覧）※店舗数は2015年9月30日時点

業態別店舗数（合計691店舗）

総合スポーツ					
スーパースポーツゼビオ		157店舗	ゼビオスポーツ ゼビオスポーツエクスプレス	 	8店舗
ヴィクトリア		22店舗	タケダスポーツ		20店舗
ネクサス		9店舗			
ゴルフ					
ヴィクトリアゴルフ ダブルイーグル	 	189店舗	ゴルフパートナー フェスティバルゴルフ	 	164店舗
その他		24店舗			
アウトドア			ファッション		
エルブレス		22店舗	ネクスト エクスタイル	 	32店舗
スポーツメガネ			スポーツドラッグストア		
エクスタイル ヴィジョン		28店舗	ジアシス		15店舗
トレーニング器具					
F.R.JAPAN		1店舗			

※スーパースポーツゼビオの店舗数には海外（上海、成都、韓国）店舗8店舗が含まれます。※ヴィクトリアゴルフ187店舗には、ゼビオ（株）が運営する144店と（株）ヴィクトリア36店と（株）ゴルフパートナー7店舗が含まれます。
※エルブレス22店には、ゼビオ（株）が運営する5店と（株）ヴィクトリアが運営する17店が含まれます。※ゴルフパートナーには、フランチャイズ店155店舗。

連結売場面積推移



Contents

- 20 XEBIO Group Statement
- 21 Message from the President
- 22 Growth Strategy and History of the XEBIO Group
- 24 XEBIO Group Primary Corporate Overview
- 25 Business Overview
- 28 Financial Information Digest
- 29 Stock Information



XEBIO Group Statement

Sports that *move* the heart.

We, the XEBIO Group, will strive to promote the attractive features of sports while converting them into “business value.”

We will transform the business model of the sports industry and maximize the value of sports as a business.

In this way, we will contribute to the sustainable development of sports while taking social actions to support local communities and helping people to live healthy, satisfying and fulfilling lives with sports as an essential part of their lifestyle.



XEBIO Group's Mission

- ◆ To maximize the emotional benefits of sports
- ◆ To transform and create a new business model for the sports industry
- ◆ To inspire and energize the world through sports

Corporate Information

Message from the President

Our company was established in 1962 in the city of Iwaki in Fukushima Prefecture as a store specializing in men's suits.

For over half a century, we have been committed to playing a pioneering role in the market while innovating and developing our business segments covering the sales from men's suits to casual apparel and sporting goods. We have expanded our retail network by striving to differentiate our business from our competitors through opening mega-stores, creating a distinctive design and layout for our stores' interiors, and implementing area-specific merchandising. Also, we have vigorously conducted merger and acquisition activities and established new businesses, and attained steady growth as a “one-of-a-kind” company.

To cope with rapid changes in the business environment, the XEBIO Group has transformed itself into a holding company named XEBIO Holdings Co., Ltd. comprising three core operating companies (XEBIO Co., Ltd., Victoria Co., Ltd., and Golf Partner Co., Ltd.) and three core special-function companies (Xross Sports Marketing Co., Ltd., Cross Tech Sports Co., Ltd., and XEBIO Corporate Co., Ltd.). With clear responsibilities and roles, the president of each core company is a member of the XEBIO Holdings' Management Meeting. Members have equal status with the CEO and together they discuss important matters and managerial issues for the whole group and implement decisions from a flexible and multifaceted perspective.

The present restructuring of the company provides a shift from “quantitative growth” to “qualitative growth.”

As “Sports Navigators,” our employees have been evolving together with the company for the past 50 years and will continue to evolve with the company for the next 100 years while absorbing XEBIO's corporate culture that has been passed down since the establishment of the company.

The company name “XEBIO” comes from two Greek words and means: “Unique lifestyle (XEchoristos-BIOs)” and “Life that expands energetically into the future (eXpanding & Energetic BIOs).”

Based on the philosophy of “creating a total lifestyle for our customers and blazing a trail for the future,” the XEBIO Group is making every effort to develop a “Sports Conglomerate” where we not only remain a major sporting goods retailer but also deal with various businesses in the pursuit of a more appealing sports culture.

In addition, we aim at being an “all-round lifestyle company” that allows us to provide our customers with proposals and planning for their potential needs relating to health and lifestyle and to resolve issues together with them from a comprehensive perspective.

The 2020 Olympic Games are to be held in Tokyo.

Sports are what everyone, including children and adults, men and women, and young and old, are able to enjoy in various ways as a player or spectator. Our fundamental philosophy of “Sports that move the heart” has been put into the statement of the XEBIO Group and we plan to put this idea in actions so that “Sports will inspire and move everyone in Japan.” We will continue to relay our message “to inspire and energize the world through sports” so that enthusiasm for sports will not fade away even after the 2020 Olympic Games.

Representative Director and President/CEO
Tomoyoshi Morohashi

How We Aim to Create a “Country of Sports Lovers”

We want to convey the “value” of sports to people who have had little opportunity to come into contact with sports. Through sports, people are inspired when they feel “a sense of belonging to a team,” realize “the importance of working hard” and experience “the joy of victory,” all rare in everyday life.

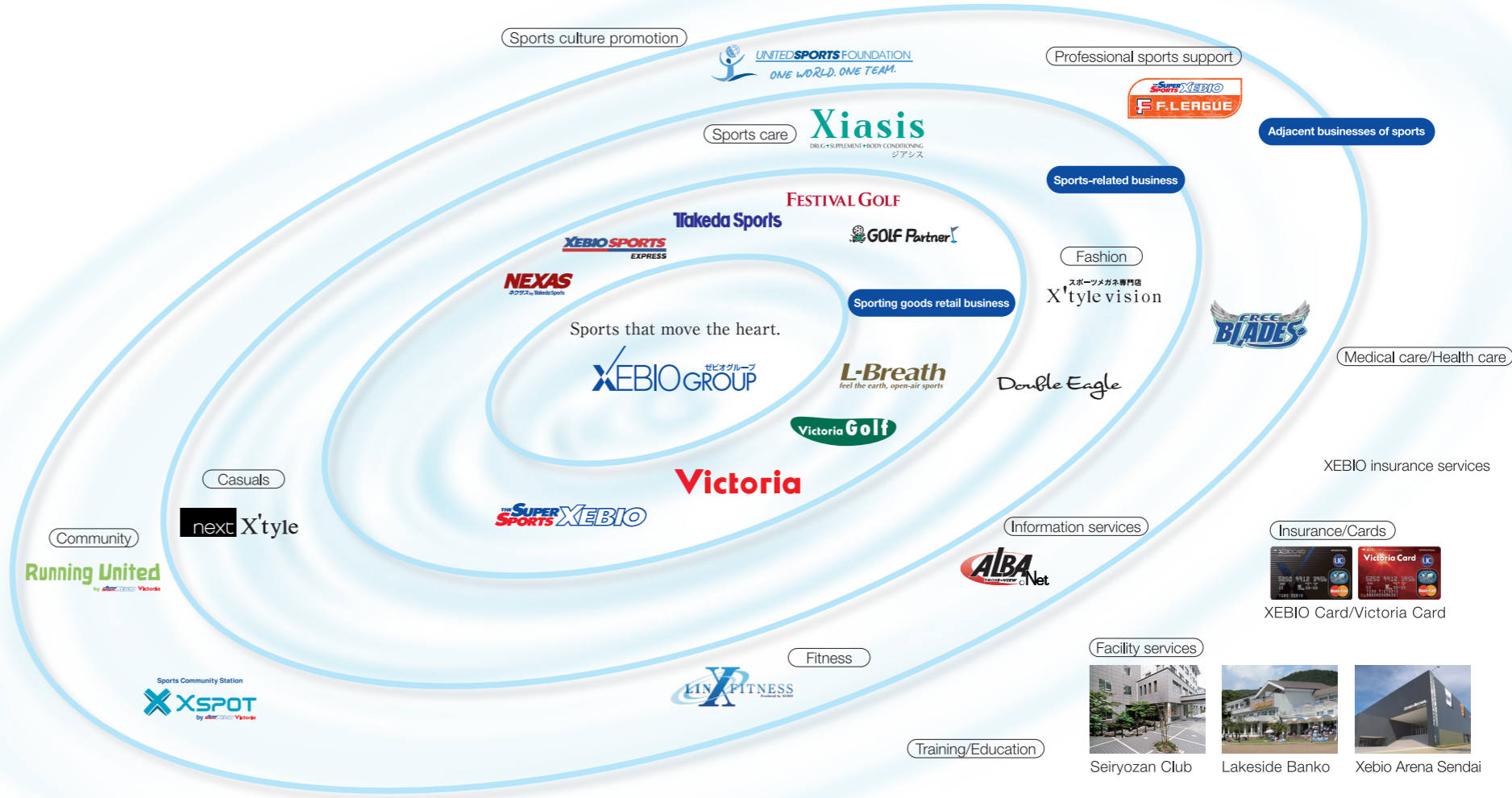
There are various types of relationships between people and sports. They include not only playing sports but also making friends through sports, watching sports, or cheering for players or teams.

We propose the concept of a “Sports Conglomerate” aimed at showing the benefits of sports to as many people as possible in collaboration with various businesses. We will continue to support people to achieve a sound and happy lifestyle with sports as an important part of their lives.

Why Do We Want to Create a “Sports Conglomerate”?

The Japanese sports retail market is estimated to be about 1.7 trillion yen, and sales have been flat for the past few years. The sporting population is expected to decrease due to the falling birthrate and graying of society. Meanwhile, a new market is emerging as running, trekking and other outdoor activities have become an established part of health-conscious lifestyles. Many people are excited by outstanding performances and achievements of professional sports players and athletes. As people become more motivated to participate in sports, the market is expected to expand.

While steadily increasing its retail market share of sporting goods, the XEBIO Group aims to go beyond retailing to explore the potential of other sports-related businesses by making the most of its retailing knowhow. Sports-related businesses cover community management, information services, and support for professional sports management, in addition to operation of sports facilities and schools, and provision of medical and health services. The total market size is estimated to exceed ten trillion yen. The XEBIO Group will continue the challenge of developing these major markets from various perspectives.



November 1987
Trade name changed to XEBIO Co., Ltd.
At the same time, store names changed from “Sankyo” (men’s clothing store) to “XEBIO” (large retail complex) and “XEBIO Men’s Wear,” from “Top Sports” to “XEBIO Sports” and from “Everyday” to “XEBY”, respectively.

April 1988
Listed on the over-the counter stocks to Tokyo District Branch of Japan Securities Dealers Association.

July 1988
New head office at 3-7-35 Asahi, Koriyama City, Fukushima Prefecture and flagship store moved to the same location.

May 1990
Listed on the Second Section of the Tokyo Stock Exchange.

July 1990
Our first suburban golf specialty store “XEBIO Sports Katsuta” in Katsuta City (currently Hitachinaka City), Ibaraki Prefecture opened.

November 1983
Suburban sports store “Top Sports Namiki” opened in Koriyama City.

October 1984
Suburban men’s clothing store “Sankyo Asaka” opened in Koriyama City.

November 1985
Suburban independent casual wear store “Men’s Capa Kuwano” opened in Koriyama City.

April 1991
Acquired 100% of the shares and ownership of Resort Hotel Bandai Co., Ltd. (currently Seiryozan Co., Ltd.).

October 1992
Motomiya Distribution Center completed.

December 1992
Suburban large complex “Super Sports XEBIO Izumi-Chuo Sendai” (3,300 sq. m., one floor) opened in Sendai City, Miyagi Prefecture.
Six other new mega stores opened simultaneously.

September 1995
Listing changed to the first section of the Tokyo Stock Exchange.

June 1996
Concluded Business Alliance Agreement with a British manufacturer and chain retailer Best Buy Next Corp.

November 1999
Opening of Nature-themed “Super Sports XEBIO Sapporo Dome Tsukisamu” with the largest retail space in Japan of about 8,250 sq. m in Sapporo City, Hokkaido Prefecture.

April 2005
Acquired 100% of shares of Victoria Inc. and had ownership.

August 2005
XEBIO Insurance Services Co., Ltd. established.

June 2006
XEBIO Card Co., Ltd. established.

July 2008
XEBIO Navigators Network Co., Ltd. founded.

October 2008
Acquired shares of Golf Partner Co., Ltd. through a takeover bid.

December 2008
Festival Golf Co., Ltd. founded (Acquired “Festival Golf” from RYZ Co., Ltd. which has been developing used golf goods specialty stores and Internet retailing in January 2009).

March 2002
“XEBY” abolished and merged into sports category.

July 2004
XEBIO Business Service Co., Ltd. (present XEBIO Corporate Co., Ltd.) established.

April 2009
Acquired full ownership of Golf Partner Co., Ltd. by simplified share exchange.

June 2010
Japan’s largest hands-on sports mall “Super Sports XEBIO Dome Tsukuba Gakuen-Higashi Odori Avenue” opened in Tsuchiura City, Ibaraki Prefecture.

August 2010
Made ALBA Partners Co., Ltd. into a consolidated subsidiary through a third-party allotment.

May 2011
Xross Sports Marketing Co., Ltd. established.

February 2012
Saibyo (China) Gymnastic Goods Co., Ltd. established in Shanghai, China.

April 2012
XEBIO Korea Co., Ltd established in Seoul, Korea.

June 2012
First overseas store “Super Sports XEBIO Shanghai Pudong” opened in Shanghai, China.

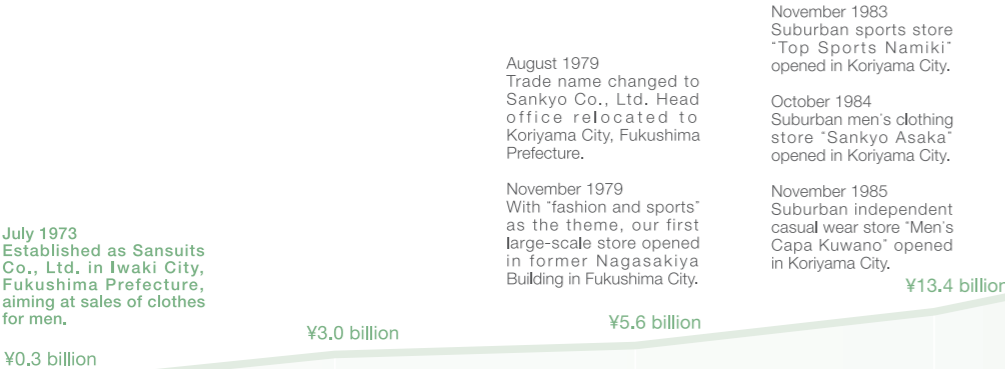
December 2012
Acquired additional shares of ALBA Partners Co., Ltd. and made it a wholly-owned subsidiary.

March 2013
Second overseas store “Super Sports XEBIO Seoul Euljiro” established in Seoul, Korea.

December 2013
NEXAS Co., Ltd. established.
Took over operation of 23 stores from Takeda Sports Co., Ltd. located in the northern Tohoku region.

April 2014
Transferred XEBIO Sports (Sakata, Ichinoseki, Mizusawa, Minamikata, Yokote, and Hanamaki Stores) to NEXAS Co., Ltd. and operated them as model stores for a small retail area.

October 2015
Transition to a pure holdings company completed.
Six core companies placed under XEBIO Holdings Co., Ltd.



XEBIO Holdings Co., Ltd.

Trade Name XEBIO Holdings Co., Ltd.
Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan
Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
Phone 024-938-1111
URL <http://www.xebio.co.jp/>

XEBIO Co., Ltd.

Trade Name XEBIO Co., Ltd.
Utsunomiya Head Office 2-1-10 Hoshigaoka, Utsunomiya, Tochigi 320-0038 Japan
Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan
Business Sales of sporting goods and equipment, and clothes for women, men, and kids
Phone 028-624-5134
URL <http://www.supersports.co.jp/>

Victoria Co., Ltd.

Trade Name Victoria Co., Ltd.
Head Office Nishikicho Trad Square 12F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
Business Sales of sporting goods
Phone 03-5282-7700
URL <http://www.victoria.co.jp/>

GOLF Partner Co., Ltd.

Trade Name Golf Partner Co., Ltd.
Head Office Nishikicho Trad Square 13F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
Business General golf shop "Golf Partner" franchise chain, "Festival Golf," and golf driving range business
Phone 03-5217-9700
URL <http://www.golfpartner.co.jp/>

Major Consolidated Subsidiaries

Retail business

■ NEXAS Co., Ltd.
Sales of sporting goods <http://takeda-sports.jp/>

Service related business

■ Cross Planet, Inc.
Sport related services that utilize the Internet, EC site management services, and golf course reservation services

■ XEBIO Card Co., Ltd.
Credit card business, installment services, loan business, etc.
<http://www.xebiocard.co.jp/>

Sports-related business

■ Tohoku Ice Hockey Club Co., Ltd.
Professional sports team management (Tohoku Free Blades)
<http://www.freeblades.jp/>

Xross Sports Marketing Co., Ltd.

Trade Name Xross Sports Marketing Co., Ltd.
Head Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
Business Marketing, research consulting, event promotion, and property management services
Phone 03-5282-7655
URL <http://www.xsmktg.com/>

Cross Tech Sports Co., Ltd.

Trade Name Cross Tech Sports Co., Ltd.
Tokyo Head Office Nishikicho Trad Square 2F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
Head Office 3-7-35 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan
Business Overseas business support and R&D services
Phone 03-3294-7351

XEBIO Corporate Co., Ltd.

Trade Name XEBIO Corporate Co., Ltd.
Head Office 3-7-7 Asahi, Koriyama, Fukushima 963-8024 Japan
Tokyo Office Nishikicho Trad Square 14F, 3-20 Kanda-nishikicho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0054 Japan
Business Group's corporate services contract business
Phone 024-927-7715
URL <http://www.xebio-xbs.jp/>

Overseas business

■ Saibiao (China) Gymnastic Goods Co., Ltd.
Retail sporting goods sales in Shanghai, China
<http://www.xebio.cn/>

■ Saibiao (Chengdu) Gymnastic Goods Co., Ltd.
Retail sporting goods sales in Chengdu, China

■ XEBIO Korea Co., Ltd.
Retail sporting goods sales in South Korea
<http://www.xebiokorea.com/>

Training and accommodation services

■ Seiryozan Co., Ltd.
Training and accommodation services
<http://www.seiryozan.jp/>

Other business

■ XEBIO Insurance Services Co., Ltd.
General agent for life and non-life insurance
<http://www.xis.co.jp/>

■ XEBIO Navigators Network Co., Ltd.
Sales contracting, human resources development, and temporary staffing

The XEBIO Group deals in a wide variety of items ranging from sporting goods to fashion clothing as it expands its businesses throughout Japan and overseas by operating more than 650 stores in total.

Each store has put priority on sales floor design and store management from the customers' perspective, and each member of its sales staff is thoroughly trained in giving their sincere and total attention to customers and providing them with service that goes beyond their expectations.

XEBIO will strive to expand and venture into new business while continuing to provide quality goods and maintain high profitability.

Super Sports XEBIO

●General sporting goods mega store ●149 stores throughout Japan and eight stores overseas



Operating mainly mega-stores with an area of a 3,300-square-meter class, Super Sports XEBIO has been expanding by making the best use of each location's unique characteristics when opening a new store. Super Sports XEBIO features a huge lineup of some hundred thousand items, provides personalized and meticulous service by our sports navigators to meet the individual needs of our customers, and designs and arranges the merchandise in stores to delight everyone who comes.

Our highest priority is on customer satisfaction for all sports lovers ranging from those who are just starting a sport to veteran players. "Super Sports XEBIO" is the core of the retail segment of the XEBIO Group. Many of our stores have retail space for our group companies of Victoria Inc. and GOLF Partner Co., Ltd. so that we can provide a large lineup of goods that distinguish us from our competitors.



XEBIO Sports Express

●Small to medium-sized sporting goods store ●Six stores throughout Japan



We operate small to medium-sized stores specializing in sporting goods in and around train station complexes. Although the stores are not large, our merchandise is tailored to fit the needs of local customers and making the best use of convenient store locations. Customers can relax and enjoy shopping for sports items, regardless of their degree of interest in sports.



Overseas Strategy

While increasing its share in the domestic market by meeting current market changes, XEBIO Holdings Co., Ltd. has been opening stores in neighboring Asian countries as well as preparing to compete at a global level.

Presently, we have eight overseas stores. In April 2014, we set up our Singapore office.

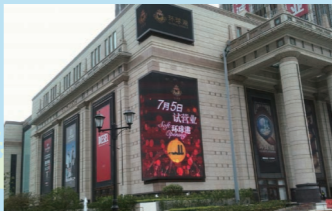
In the future, we will make the best use of the advantages of these overseas stores that are closely connected to the local business community, use this Singapore office as a management base for our overseas businesses, and aim to provide a more sporting lifestyle to people in Asia.



Seoul World Tower Store



Chengdu Gaoxin Store



Shanghai Global Harbor Store



Transview Golf Outlet

Sporting Goods Retail Business (The number of stores/shops is as of September 30, 2015)

Victoria

●Urban sporting goods mega store ●22 stores throughout Japan



Based in the Kanto region, Victoria continues to expand its sales area. There are stores specializing in items for winter sports as well as those selling goods for "hard-core athletes." The stores are designed to fit the location and changes in customer demand.

Based on the corporate philosophy of "To be a one-of-a-kind-company that contributes to experiencing the joy of sports and creating a healthy body to lead a fulfilling life with sports," Victoria continues to evolve and develop.



L-Breath

●Outdoor sporting goods shop ●21 shops throughout Japan



Independent shops of L-Breath are located in central Tokyo, and other shops are located in Victoria and Super Sports XEBIO. The services have expanded to serve the entire country. L-Breath offers customers appropriate advice to fit their needs and use situation, and introduces new products so that they can better enjoy outdoor life.



Victoria Golf

●Comprehensive golf shop ●187 shops throughout Japan



This shop specializing in golf products has something for everyone from beginning golfers to professional-level players. The shops are run independently or as shops located within Super Sports XEBIO. The shops are fully equipped with a "trial hitting system" where you can try out different golf clubs and select one that is to your satisfaction. The interior of some of the shops in the Metropolitan area are designed to create an atmosphere of elegance and luxury, making customers feel like they are in another world, far away from the routine of everyday life.



GOLF Partner

●Used golf shop ●164 shops throughout Japan
*Including Festival Golf but excluding franchise shops



GOLF Partner offers a large variety of golf items and operates independent shops as well as shops in Victoria Golf. In addition to these shops, GOLF Partner has recently focused on operating driving ranges as well as shops in the range facility. It has actively increased the number of its franchise shops, and has reached the No. 1 position with incredible speed in the field of used golf equipment. With "Partner for Your Golfing Life" as its management philosophy, it offers the goods and services to realize an ideal "golfing life."



Related businesses (The number of stores/shops is as of September 30, 2015)

NEXAS

●Suburban sporting goods store ●9 stores throughout Japan



Takeda Sports

●Suburban sporting goods store ●20 stores throughout Japan



Operating mainly small-sized sporting goods stores, NEXAS and Takeda Sports gives high priority to providing its customers with services that offer convenience and expertise which cannot be provided by mega stores. In addition, by taking into consideration the characteristics of the local community, we are striving to provide a better selection of goods, sophisticated sales floor and first-rate service, and promote sports in the Tohoku region.



X'tyle

●Fashion brand shop ●18 shops throughout Japan



This clothing specialty shop offers domestic and overseas brands of sporty style clothing that is easy-to-wear and functional and can be worn stylishly in daily life. Some of the shops are independent while some are located in Super Sports XEBIO stores.



Xiasis

●"Sports-conscious" drugstore ●15 drugstores throughout Japan



Xiasis sells a wide variety of health food and fitness and medical products to offer total support to customers to build a better healthier body. Also, our certified sales staff offers thorough counseling and advice on which products to use and is enhancing consultative sales.



next

●Fashion brand shop ●14 shops throughout Japan



"next" is the leading SPA brand in UK with more than 700 shops around the world as well as a global mail-order business. With its unique design and high quality, people around the world love next. They use only the best materials and excellent tailoring to produce apparel items, shoes, and accessories that create a totally coordinated fashion look.



X'tyle vision

●Sports glasses/sunglasses shop ●28 shops throughout Japan



X'tyle vision has a wide assortment of items that will please customers, including various famous brands to self-developed items that can be used in sports, business, or daily life. With our experience and know-how on how to operate a sports shop, X'tyle vision offers the best eyewear to its customers.



ALBA.Net

●Internet business for golf information ●URL www.alba.co.jp



Through the Internet, ALBA.Net provides many golfers with one-stop service and helpful information on the latest golf products and news about tours on a timely basis. It also offers services in collaboration with Victoria Golf EC shops as well as golf course reservation services comprising various plans to meet user needs and consulting services.



Analysis of Business Results

The XEBIO Group's consolidated business results for the fiscal year ending on March 31, 2015 are as follows:

Net Sales

Net sales on a consolidated basis for this fiscal year were ¥210.672 billion, an increase of ¥5.893 billion (2.9%) from the previous fiscal year.

Selling, General and Administrative Expenses

Selling, general and administrative expenses on a consolidated basis for this fiscal year were ¥75.196 billion, an increase of ¥6.088 billion from the previous fiscal year.

Operating Profit

Operating profit on a consolidated basis for this fiscal year was ¥5.654 billion, a decrease of ¥6.640 billion compared with the previous fiscal year.

Non-operating and extraordinary profit/loss

Non-operating revenues were ¥1.958 billion consisting of real estate rents of ¥853 million, the received interest of ¥101 million and other revenues.

Non-operating expenses were ¥1.18 billion resulting from rental expenses on real estate of 781 million and other expenses.

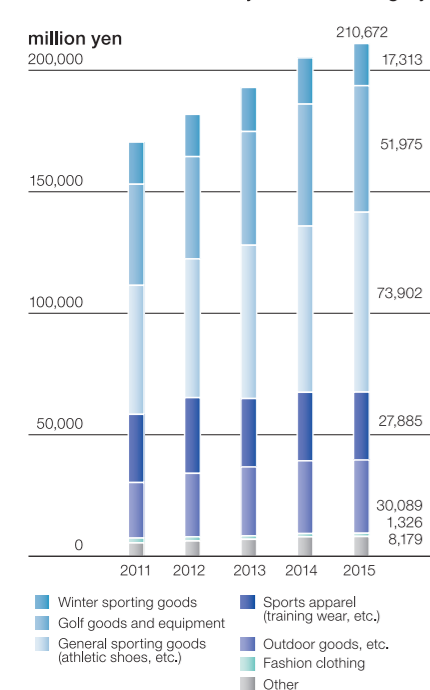
As a result, ordinary profit for this fiscal year was ¥6.432 billion (a decrease of ¥6.552 billion compared with the previous fiscal year).

Extraordinary loss was ¥2.558 billion due to loss on disposal of fixed assets of ¥37 million, impairment loss of fixed assets of ¥2.043 billion and other losses.

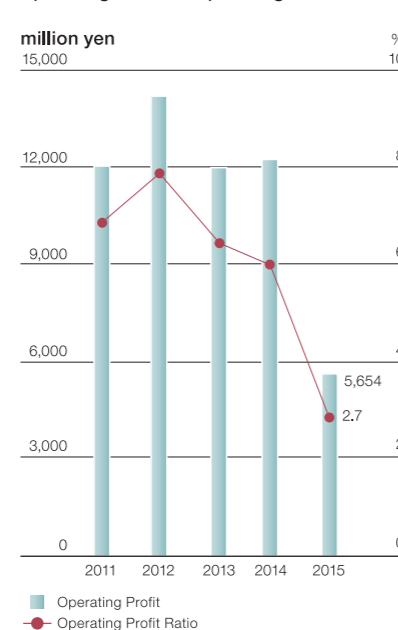
Net profit

Net profit on a consolidated basis for this fiscal year was ¥2.084 billion, a decrease of ¥4.533 billion (68.5%) compared with the previous fiscal year.

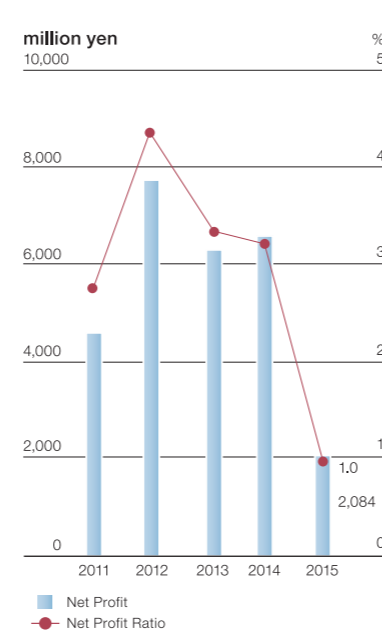
Net Sales & Net Sales by Product Category



Operating Profit & Operating Profit Ratio



Net Profit & Net Profit Ratio



Analysis of Financial Position

Total assets on a consolidated basis at the end of this fiscal year were ¥181.698 billion, up ¥314 million from the end of the previous fiscal year.

Current assets on a consolidated basis were ¥105.153 billion, down ¥928 million from the end of the previous fiscal year, while fixed assets were ¥76.545 billion with an up of ¥1.243 billion.

Total liabilities on a consolidated basis at the end of this fiscal year were ¥65.916 billion, down ¥887 million from the end of the previous fiscal year.

Current liabilities on a consolidated basis were ¥57.231 billion, down ¥1.967 billion from the end of the previous fiscal year, while fixed liabilities were ¥8.685 billion, up ¥1.079 billion.

Net assets on a consolidated basis at the end of this fiscal year were ¥115.781 billion, up ¥1.201 billion from the end of the previous fiscal year partly due to an increase of ¥649 million in retained earnings.

Analysis of Cash Flows

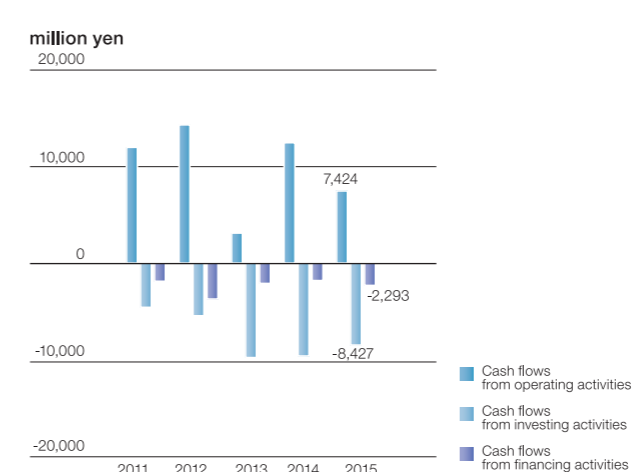
Cash and cash equivalents on a consolidated basis at the end of this fiscal year were ¥22.939 billion, down ¥2.635 billion from the end of the previous fiscal year.

Cash flows from operating activities were a net inflow of ¥7.424 billion, mainly attributable to addition of net profit before taxes of ¥3.873 billion, payment of corporate taxes of ¥5.12 billion, an increase of ¥61 million due to an inventory decrease, a decrease of ¥85 million due to a decrease in trade payables, and an increase of ¥196 million due to a decrease in trade receivables.

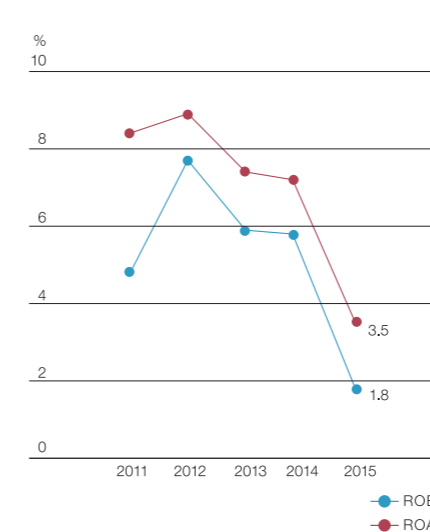
Cash flows from investing activities were a net outflow of ¥8.427 billion, which is mainly attributable to ¥5.384 billion for acquisition of physical fixed assets associated with store openings, and ¥1.425 billion for acquisition of real estate investments.

Cash flows from financing activities were a net outflow of ¥2.293 billion, which is mainly attributable to ¥1.576 billion for dividend payments, and ¥844 million for repayment of obligations under finance lease.

Cash Flows



ROE/ROA



Stock Information

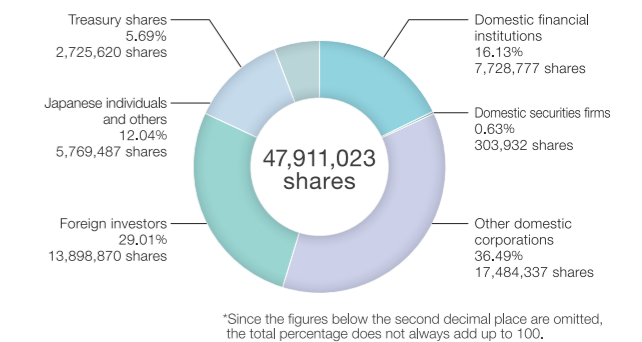
(as of September 30, 2015)

Securities identification code: 8281
Stock exchange listing: Tokyo Stock Exchange (First Section)

Share information

Total number of authorized shares	135,000,000
Total number of issued shares	47,911,023
Number of shareholders	9,088

Distribution of shareholders



Major shareholders

Name	Number of shares held (shares)	Ratio of shareholding (%)
Sunbig Corp.	8,252,605	18.3
Morohashi Museum of Modern Art	4,500,000	10.0
TTC Co., Ltd.	4,121,466	9.1
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,940,600	4.3
Japan Trustee Services Bank, Ltd. (Trust Account)	1,522,100	3.4
Teruko Morohashi	1,392,364	3.1
Tomoyoshi Morohashi	1,173,150	2.6
Japan Trustee Services Bank, Ltd. (Trust Account 9)	1,094,500	2.4
The Master Trust Bank of Japan, Ltd. (Trust Account)	902,500	2.0
Hiroko Morohashi	900,897	2.0

*1. Our company owns 2,725,620 treasury shares but has no voting rights, so is excluded from the above list of major shareholders. In addition, the ratio of stock ownership is calculated after deducting the treasury shares.
*2. The number of shares held by the trust companies includes the shares for conducting their activities.

Dividend per share

	End of Q2	Term-End	Annual
Term ended March 2014	17.50 yen	17.50 yen	35.00 yen
Term ended March 2015	17.50 yen	17.50 yen	35.00 yen
Term ended March 2016 (expected)	17.50 yen	17.50 yen	35.00 yen